

各 位

中野区保健所長

中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の令和2年第53週(12月28日～1月3日)分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

記

1 中野区集計

- ① 全数届出患者数一覧(中野区届出分)
- ② 定点報告疾患集計(中野区届出分)

区内定点よりの調査票通信(53週速報)

・定点からの通信は特にありません。

コメント

○定点医療機関から報告される通常の定点報告疾患数はかなり少ない状態が続いています。

○今週、2類の全数届出として結核が2人報告されました。患者さんは20歳代の男性[肺結核(rⅢ2)、喀痰培養検査中]、および20歳代の女性[肺結核(rⅡ2)、喀痰塗抹陽性]です。

○今週、5類の全数届出として侵襲性肺炎球菌感染症が報告されました。患者さんは60歳代の女性で、発熱、意識障害、髄膜炎があり、血液培養と髄液から病原体が検出されました。感染原因等については不明です。

●今週、指定感染症の新型コロナウイルス感染症が198人(※注)報告されました。患者さんの性・年齢は下表の通りで、区のPCR検査センターは年末年始のため休診だったため、発生届出は医療機関等でのPCR検査または抗原検査陽性者が全てです(ただし、行政依頼の検査を含みます)。

※注:区内医療機関において診断された事による発生届(報告)で、患者さんが区内在住とは限りませんのでこの点にご留意下さい。

年齢	<10	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90<	計
男	2	3	34	25	18	18	8	5	2	0	115
女	2	1	23	19	8	16	5	2	7	0	83

今週も、勧告や疫学調査に追われているため感染原因等の集計は終了していませんが、区内届出のうち、対応分は175人、他区転送は23人で、患者報告数は前週の147人から35%の増加となり、大変多い状態が続いています。

20代、30代の感染者が多く、また、家族内感染等による高齢者への感染も続いています。

●年末年始も発熱外来、抗原検査のご協力により多数の届出がありました。特に、都内の陽性率上昇、新規陽性者の増加率、重傷者数等が深刻な状況です。

保健所の調査、および集計業務も未了ですが、感染経路が不明の割合も依然として高い上に、クリスマス、忘年会、知人との旅行・友人宅や帰省による個々の宿泊等に起因する感染も目立っています。

●近々、首都圏を対象とした緊急事態宣言が発令されます。改めて感染予防の徹底と共に、不要不急の外出の自粛等、接触機会の低減による実効再生産数の低下が望まれます。

PCR検査センターでの検査状況について

中野区内にPCR検査センターを設置しています。

PCR検査センターは、中野区が設置し、一般社団法人中野区医師会のご協力により、区内の医療機関の医師が輪番で検査を行うこととしています。

区内医療機関からの依頼であれば中野区民以外の方でも検査可能です。

中野区感染症発生動向調査週報

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/402000/d001703.html>

①-1 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	49週	50週	51週	52週	53週	2020年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう(天然痘)						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核		1	3	1	2	63
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(SARS)						
	中東呼吸器症候群(MERS)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
鳥インフルエンザ(H7N9)							
指定	新型コロナウイルス感染症	79	111	116	147	198	2374
三類	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症						9
	腸チフス						
	パラチフス						
四類	E型肝炎						1
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎						
	エキノкокクス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサヌル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	サル痘						
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
発疹チフス							
ポツリヌス症							
マラリア							
野兔病							
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽							
レジオネラ症						1	
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							

①-2 全数届出患者数一覧(中野区届出分) 五類感染症

分類	疾病名	49週	50週	51週	52週	53週	2020年 報告数
五類	アメーバ赤痢						4
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						4
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)						
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1
	後天性免疫不全症候群	1			1		9
	ジアルジア症						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	3
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒						13
	播種性クリプトコックス症						1
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
百日咳						13	
風しん						1	
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症							

② 定点報告疾患集計(中野区分)

定点種別	疾病名	49週	50週	51週	52週	53週	2020年 報告数
インフルエンザ	インフルエンザ						884
小児科	RSウイルス感染症						9
	咽頭結膜熱		1	2			20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2	1	6		465
	感染性胃腸炎	11	24	20	22	13	1128
	水痘	3	1				75
	手足口病	3	1	1			32
	伝染性紅斑						8
	突発性発疹	1	3	4	3	3	180
	ヘルパンギーナ						6
	流行性耳下腺炎				2		23
	不明発疹症						6
	MCLS(川崎病)						5
眼科	急性出血性結膜炎						
	流行性角結膜炎						7
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※注)						

※注:病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症(STI)定点 [月報]	2	2	2	2	2	2